



加藤 勇夫 教授

## 加藤勇夫教授退職・名誉教授授与記念号に寄せて

約50年の長きにわたり愛知学院大学商学部、大学院商学研究科、ならびに大学全体の発展のために貢献された加藤勇夫先生が、平成22年3月31日をもって、本学商学部および大学院商学研究科客員教授を退職され、同年4月に本学より名誉教授の称号を授与されました。

加藤先生の輝かしい研究業績と経歴については巻末をご覧くださいことにして、以下に先生の略歴とご活躍の一部を紹介し、退職・名誉教授授与記念号に寄せる言葉とさせていただきます。

加藤先生は、昭和35年3月に愛知学院大学商学部を卒業の後、本学大学院商学研究科修士課程、博士課程に進学されました。同時に、昭和35年4月から本学商学部副手、37年助手を務め、同大学博士課程単位取得満期退学後、昭和44年4月に本学商学部講師に就任されました。そして47年4月助教授、54年12月商学部教授に昇任されました。その後、昭和56年に本学より商学博士の学位を授与されています。これは愛知学院大学商甲第一号にあたります。昭和58年4月には本学大学院商学研究科教授に就任されました。

先生は、平成元年4月から商学部長を4年間、12年4月から本学教務部長を8年間務められました。その他にも流通科学研究所長、産業研究所長、学長付顧問、学校法人愛知学院評議員などの数々の役職を歴任され、大学行政に尽力されました。

加藤先生のご専門はマーケティング論であり、独創的なマーケティング・コンセプト論、マーケティング・アプローチ論を中心とした優れた理論を展開され、顕著な業績をあげられました。特に、先生の代表的著書である『マーケティング・アプローチ論－その展開と分析－』（白桃書房）は、マーケティング理論研究の流れを極めて詳細かつ正確に分析・考察された卓越した研究です。

学会活動としては、主なものだけでも日本商業学会、日本広告学会、日本商業施設学会等で活躍され、日本商業学会常任理事・中部部会代表理事、日本広告学会理事、日本経済学会連合評議員など要職を歴任され、現在でも日本商業施設学会会長を務めています。

このような研究活動をもとに教育にも努力を傾注され、懇切丁寧で、熱心な授業、研究指導で多くの有為な人材を育てられました。先生に薫陶を受けた学生は数多く、学部のゼミ卒業生は504名、大学院の修士課程修了者、博士課程満了者はあわせて76名にのぼります。また、4名の博士（商学）論文の主査を務められました。数多くの学生、卒業生、研究者から慕われ、高い信頼と評価を得ています。

学外の活動においても、愛知県をはじめとした地方自治体、中部マーケティング協会などの経済団体において、各種委員会等の役職を務め、地域社会の発展に大きく貢献し、また講演、ラジオ出演など、多方面で活躍され、愛知学院大学の名を高められました。

また、昭和59年から愛知学院大学商学部同窓会（現商経会）の会長を24年間務め、会の発展に尽力されました。

先生は、学問的な研究の深さ、広さだけではなく、ユーモア溢れる人柄、人間的な魅力を兼ね備えておられます。その魅力で多くの教職員、学生や学外の人々の心を引きつけ、有形、無形の影響を与えています。

先生が本学で研究教育に関わられてから約50年、このような長きにわたり大学の発展に貢献された経歴の方は、後にも先にも先生以外にはいらっしゃいません。まさに本学の発展は先生の歩みとともにあったといっても過言ではないと思います。母校である愛知学院大学に対する先生の思い入れは広く、深く、常々本学の発展を第一に考えるその強い思いは、教職員をはじめ誰もが知るところです。

どうかこれからも愛知学院大学商学部、大学院商学研究科、さらに大学全体の発展のために引き続き温かく見守っていただき、ご指導、ご教示ください。

末筆ながら先生のますますのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

平成24年1月 吉日

愛知学院大学商学会 会長 脇 田 弘 久